

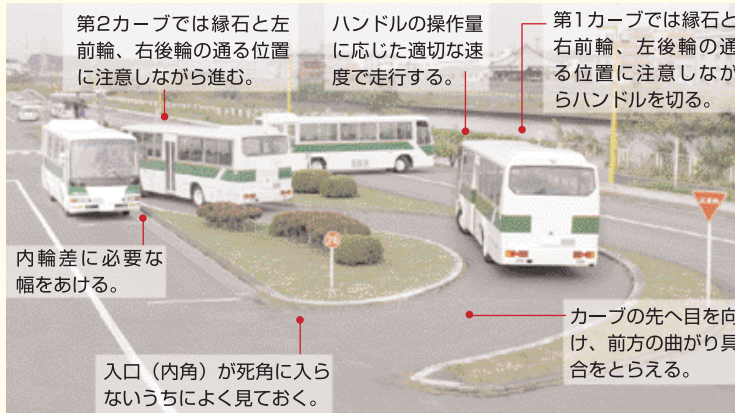
狭路の通行

ハンドルを切るタイミングは、リズムカルに、身体に覚えさせよう。

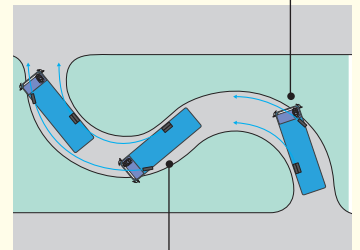
- 1 狭路の形状のとらえかた
- 2 視点の配りかた、視野のとりかた
- 3 車高感覚の把握のしかた
- 4 速度の調節のしかた
- 5 進路のとりかたと修正のしかた

【S字コースの通行】

はじめにコース全体を見通して、走行位置をしっかりとイメージしておこう。



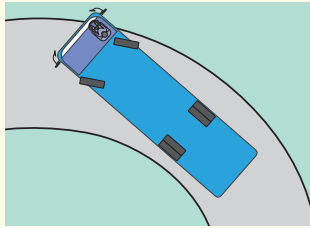
右側の縁石に沿うように前輪を誘導する。ミラーで左後輪の位置を確認し、一定になるよう調整する。



左前輪を縁石に沿うよう誘導し、右後輪の位置をミラーで確認し、一定になるよう調整する。

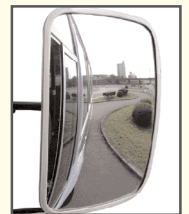
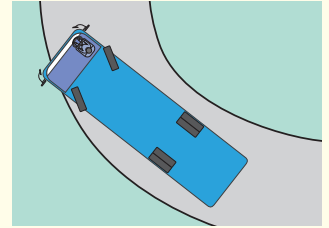
●左に曲がる場合

右前輪を縁石に寄せ、左後輪をミラーで確認したら一定に保つ。



●右に曲がる場合

オーバーハングを十分考慮して、左前輪を誘導する。



バスの運転席は前輪よりかなり前があるので、左カーブの場合はコースの外に出る。



右カーブの場合、前輪の感覚がつかみづらいので、右サイドミラーで後輪と縁石の感覚を一定に保つ。

